

ちくさんスナップショット

平成 26 年 2 月 第 33 号 株式会社富士飼料

【大崎市長との面談】

昨年、白石市 風間康静市長、
県議会前議長 中村功 県議に面談
させて頂きましたが、去る 1 月
29 日に大崎市 伊藤康志市長と面
談させて頂きました。畜産農家
への支援と飼料米活用のお話、
弊社の事業説明と取り組みにつ
いてお話しさせて頂きました。
自治体ともしっかり手を組み合
って畜産業界の発展に寄与して
いく所存です。 【津田】



左から 3 人目が伊藤市長、
その右に当社 小松、津田、松浦

【配合飼料】 トウモロコシ事情について

お客様と一番の話題となるのが飼料高騰ですが、ご存知の通りその主な理由は、主原料であるトウモロコシ等の国際価格が大きく値上がりしているからだと言われています。

トウモロコシ価格高騰の要因として大きく 4 つの理由が挙げられています。

- 1・米国内でトウモロコシを原料としたバイオエタノール需要の拡大。
- 2・新興諸国の著しい経済発展により人々の食生活の向上における穀物需要の拡大。
- 3・世界的な異常気象における穀物不作。
- 4・為替差、燃料費の高騰による輸送費用の増加。

現在、トウモロコシの国際価格は、アメリカでの天候回復による豊作により値下がりしています (3. の回復)。しかし、この価格でも飼料価格が大きく値下がりにおよぶほどの下げ幅にはなりません。また、世界的な需要の増加や天候不順、為替動向により、国際価格の不安定な状況はなかなか変わりません (1. 2. 4. の要素)。その結果、飼料価格は高止まりをしている、というのが現状です。

大変厳しいエサ事情ではありますが、私たち富士飼料スタッフは常にお客様の立場に立って対応していきたいと思っております。(裏面グラフ参考)

【宮城県南担当：斎藤勉】

【健康】 ノロ・インフルエンザ対処法

高熱が出る「インフルエンザ」や嘔吐や下痢に苦しむ「ノロ」、苦しい咳が長引き重症化すると肺炎を起こしやすい「RS」など、この冬はインフルエンザ以外にも、ウイルス性の「お腹カゼ」「咳カゼ」が流行っています。感染せぬよう注意したいですね。

そんな中、気になる情報が！「乳酸菌」に予防や症状の軽減効果がある!？との事。日常的に乳酸菌を摂っていると、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症にかかりにくい、重症化しにくいとの研究報告が多数出てきています。最近ではラクトフェリン入りのヨーグルトの摂取でノロウイルスに感染しにくくなるという研究もあります。この季節、腸内環境を整え、免疫力を上げておくことは自分でできる有効な対策の一つと言えます。

【宮城福島山形担当：二瓶洋一】

【配合飼料価格安定制度について】

今年四月から配合飼料価格安定基金制度が変わります。補てん条件が見直され、特に通常基金補てん交付が大きく変更されます。

これまでの通常補てんは、当該四半期における飼料メーカー（全農含む11社）の価格改定巾を加重平均し、直前一年間の平均飼料価格を上回った分を補てんしていました。今回の見直しでは、配合飼料主要六原料の平均輸入単価をもとに基準価格を算定するやり方に変更しました。これまでの異常基金発動条件をそのまま通常基金補てん基準に適用しており、異常と通常基金の一体的な連携を持つ対応にしたのが今回の制度見直しの主な点です。

当該四半期前に明らかになっていた畜産農家の実質的な飼料価格（基金対応を含む末端価格）が、今回の見直しにより価格（配合飼料主要六原料の平均輸入単価をもとにした基準価格）決定後に決まる事になります。

【宮城福島山形担当：二瓶洋一】

【異動のご挨拶】

2月に入り、あいかわらず寒い日が続いております。畜産農家様におかれましては、朝、晩の作業が辛い季節だと思われれます。

さて、私事ですが、このたび異動により県北の大崎流通センターに勤務することになりました。畜種を問わず、宮城県南の皆様方には、色々ご指導いただき大変お世話になりました、ありがとうございました。

皆様から教えられた経験を生かし、微力ながら、これからも畜産農家様の「力（ちから）」になれるよう、仕事に取り組んで参ります。

県北の皆様、まだ地理もよく解らない私ですが、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

【宮城県北担当：佐藤研治】

【シカゴとうもろこし定期】

